

# 水を編む人々

pt2

水を編む人々  
げに百鬼夜行一幅の活図なり

流星のサンバ\*

蛍

AfterWords\*

\*金沢市民芸術村委嘱作品・世界初演

出演

平原慎士 (Gt.)

2021年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト

般若佳子 (Va.)

2020年度金沢市民芸術村レジデントアーティスト

木村トモカ (Pf. Key.)

その他「音魂2022」の出演予定

金沢シニアアウクレレオーケストラ

篠笛うわぶえ会

K WISH

金沢室内管弦楽団

金沢吹奏楽研究会

北陸グレースマスクワイヤ

Anila Flamenca CHIE

## 平原慎士

2021年度金沢市民芸術村  
レジデントアーティスト



2022 10.23 | Sun | 17:30 スタート

「音魂2022」での公演です。音魂2022コンサートは14時頃から開演します。

金沢市民芸術村 PIT3(オープンスペース・水上ステージ)

観覧無料

芸術村HP <https://www.geimura.com/music/resi-con21/>

主催:金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会 共催:金沢市、(公財)金沢芸術創造財団 協力:K-CUBIC、LFI

Kanazawa Citizen's Art Center  
金沢市民芸術村

PIT4 ● ミュージック工房

レジデントアーティストの話を受けたとき、

東京都内でジャズといけばなしとテクノロジーを合わせた公演を行なっていた。

新しさを追求することは常に重要である一方、前に進むことが何を失くすことになるのか。革新と普遍は僕にとって大きなテーマである。綿々と続く日本の原風景とともに豊かな文化を醸成してきた金沢市において、いまいちど「残す」意味を見つめ直したい。

## 01. 水を編む人々

浅野川と犀川に挟まれた金沢市街地を、一日をかけて歩き回った。

観光地からすぐ、閑静な住宅地の小路で衝撃的に目に入ってきたのは用水路の水流だった。それは各地で見かける濁んだものではなく、道端にもかかわらず激しく勢いのある姿。その活き活きとしたすがたに、大門山から日本海へと流れる水を取り入れながら、今まで脈々と築いてきた金沢市民の生活と情緒を見たような気がしている。

## 02. げに百鬼夜行一幅の活図なり

「金沢なる浅野川の磧は、宵々ごとに納涼の人出のために熱了せられぬ。」

泉鏡花の小説『義侠』は金沢を舞台とし、旅芸者を中心とした風俗を鮮やかに描いている。

その文章に、音楽的な面白さを覚えるのは僕だけではないはずだ。「続きて一団また一団、大蛇を籠に入れて荷者と、馬に跨りて行く曲馬芝居の座頭とを先に立てて、さまざまの動物と異形の人類が、絡繹として森蔭に列を成せるその状は、げに百鬼夜行一幅の活図なり。」

## 03. 流星のサンバ

ある大学のプロジェクトで、プラネットリウムでの演奏を依頼された折、かねてより興味のあった天文の本を幾つか読むことにした。

音のない宇宙空間を題材に作曲する上で、

散在する光の粒に星座という物語を投影させた人々の想像力に大いに刺激を受けた。そのプロジェクトは、光害などによって夜空の天体がさらに見えなくなっているということに端を発している。金沢では今夜、どんな星が流れているのだろう。

## 04. 蛻

金沢は戦火や大災害を免れたため日本の原風景が街に残っていると聞いた。

中心に位置する兼六園ではいまも蟻が飛ぶ。福岡で育った僕には、

都市と自然は発展の象徴として、切り離していくものとして捉えている。

双方が調和する金沢の在り方は、未来的でもあると感じられないだろうか。その想いを、親しみやすいメロディと新たなサウンドで表現したい。

## AfterWords



平原慎士(Hirabaru, Shinji／Guitars)

1987年生まれ、福岡県出身。2005年ギブソンジャズギターコンテスト史上最年少準優勝受賞。2020年世田谷区芸術アワードを受賞。2006年にテキサス州立ノーステキサス大学(UNT)へ入学。2011年卒業後、東京を拠点に数多くの音楽制作に携わる。2017年、UnLike Sound Productionを設立。現在は作曲や演奏に加えて、他分野とのコラボレーションやテクノロジーを用いた音楽表現など、新たな領域を開拓している。



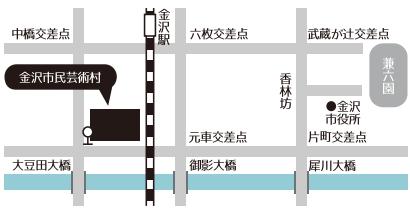
般若佳子(Hannya, Yoshiko／Viola)

広島県福山市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業、同年フランクフルト音楽・舞台芸術大学入学を機に渡欧。ブリュッセル王立音楽院編入、同時にictus ensemble公演に参加しヴィオラ奏者として活動開始。現在、金沢を拠点にクラシック～現代まで活発な演奏活動を行う。広島市最優秀新人賞、シエナ国際アーディプロマ名誉賞受賞。2004年度文化庁在外派遣研修員。2020年度金沢市民芸術村レジデント・アーティスト。



木村トモカ(Kimura, Tomoka／Piano, Keyboards)

北海道出身。高校卒業後クラシックからジャズに目覚め転向、渡米。University of North Texas卒業。帰国後、講師活動に並行し、ジャズ、ポップス、シャンソン、ゴスペルなどさまざまなジャンルのバンドのサポートでライブ、レコーディングを行う。コンサートの音楽監督、編曲なども行っている。



### 金沢市民芸術村へのアクセス

- ・金沢駅よりJR線高架に沿って徒歩10分
  - ・北鉄バス「武蔵ヶ辻・近江町市場」発「香林坊」経由「新金沢郵便局」行き  
「大豆田」バス停下車 徒歩5分
- ※本数が限られているため、予めご確認の上ご利用ください。



※新型コロナウィルス感染症(COVID-19)の感染状況等により、予告なしに内容・会場・日程・時間・定員等が変更または中止となる場合があります。※ご来場される方は、37.5度以上の発熱や風邪、味覚障害等の症状があるなど体調が優れない場合のご参加はご遠慮いただき、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、社会的距離の確保などをお願いします。※予防対策として、出演者、スタッフは、マスクを着用し、会場には消毒液を設置いたします。※「換気の悪い空間」「多数が密集する場所」「近距離での会話や発声が行われる場面」を避けた運営を行います。皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Kanazawa Citizen's Art Center  
**金沢市民芸術村**

〒920-0046 石川県金沢市大和町1-1  
TEL:076-265-8300 FAX:076-265-8301  
<https://www.geimura.com/music/resi-con21>